

20.1.19 江戸川大学学生との高田の大堀川支流調査

20.1.22 大堀川の水辺をきれいにする会 青木

江戸川大学の学生の提案に乗っかり、正月早々高田地区の大堀川支流と一緒に調査しました。状況を簡単に報告します。

目的：大堀川の大きな支流のひとつである高田の第10号雨水幹線の経路を詳細に探索・把握しながら水質状況を調べる。

参加者：江戸川大学一小針（リーダー）野田、斉藤、高橋、大館、宗像、松浦の計7名
大堀川の会ー加藤、奥村、青木の3名

- ・9時40分から13時頃まで大堀川本流への出口からスタートして流れを遡ってみっちり見て回り、ほぼ水路全体を探索、学生諸君は目的を達したようであった。水路は途中で暗渠となるのでその経路は「雨水」（または「うすい」と記されたマンホールの蓋で確認しつつ辿った。
- ・水路の水は土曜日で工場休みが多いためか以前の協働調査の時よりややきれいであった。
- ・三勢工業団地の排水集中処理施設からの水も確認したがこの日は割合きれいに見えた。何時もほとんど水のない調整池の一部を処理施設にすればきちんとした処理が出来そうとの声あり。
- ・更に上流に遡るにつれ水路の汚れと水の濁り、着色、臭気が目立つようになるが、機械金属工業団地からの排水流入口は探しても見つからなかった。団地終端あたりで見たいは最悪となるが、その先は全部流山市内の暗渠で水状況は分からなくなってしまう。
- ・水路脇のつくばエクスプレス下は以前の化学工場の跡地だそうで、そこにある水溜りは泡立ち異臭を放っていたが、雨が降ればこれも水路に流れ込んでくる。近くのおじさんが、あちこちで頻りに汚ない水が流れるが役所に言っても何もしないとぼやいていた。
- ・雨水幹線とは名ばかりで、家庭・工場排水等何でも流れ込んでいるのが実態と分った。
- ・畑の水路と周辺に色々な鳥が見られ、詳しい学生によるとマガモ、コガモ、ハクセキレイ等々。

水質測定結果 （測定地点のNo.は次ページの地図に記載の通り）

	①大堀川への出口「天神橋樋管」	②道路脇開水路	③三勢工業団地西側水路	④機械金属工業団地北側水路
水温 ℃	8	11	10.5	8
pH	7.3	7.5	7.9	7.9
透視度 cm	12	22	23	7
電気伝導率 mS/cm	0.33	0.4	0.45	0.67
COD mg/l	5~10	10	20	20
アンモニア性窒素 mg/l	0.5	0.2	2	3
硝酸性窒素 mg/l	1	20	10	20
磷酸性リン mg/l	0.3	2	2	2

(①の大堀川への出口の水質がその上流に比べてよいが、その採水箇所にきれいな本流の水も混入していた可能性も考えられる。本流にまで達しない箇所でも測る必要がある。))

調査水路



柏市の雨水幹線マンホール



流山市の雨水幹線マンホール



①の大堀川への出口での測定状況



①地点から水路を見ながら上流へ向かう



③付近の機械金属工業団地横の汚い水路



④の機械金属工業団地終端での測定状況

